

2022 年度 事業計画

2020 年初頭に世界を襲った新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大は、人々の行動を制限し、これまでの考え方や価値観を根底から変えざるを得ない状況に至っています。

コロナ感染危機からの脱却は、あと数年こうした状態が継続しそうですが、早期に感染症の予防法が究明され、安心して暮らせる生活を取り戻したいものです。この間に社会・経済を含めた人々の生活意識や価値観等が大幅な変貌を遂げています。政府からは、様々な財政支援はあるものの、企業としての活動や個人の生活をこれ以上制約することは不可能と言わざるを得ません。産業構造が大きく変化を遂げる中であって、広告業界全体としても、交通広告業界としても、更なる成長を遂げていくためには時代や社会ニーズを的確に捉え新しい価値観で取り組んでいかなければなりません。

広告業界は、他の産業界と同様に未だに大変厳しい状況が続いておりますが、経営側はこの危機からの脱出に日夜腐心されていることと思います。また鉄道会社は、緊急事態宣言下当時のような、大変な状況から比べるといくらか回復したとはいうものの、厳しい状況には変わりありません。鉄道広告事業自身がより早く回復し、鉄道会社を側面からサポートし、回復軌道に乗せることが何より重要な役割と考えています。こうした厳しい経営状況下であって、今年度も昨年度と同様な状況が継続することが想定されていることから、これまで取り組んできたビジネスに加え、従来にも増して鉄道広告の特性を最大限に発揮し、社会やお客様のニーズにしっかり応え、より一層の存在感を向上させていくことが求められています。媒体の魅力度向上、これまで以上の創意工夫に加え、新たな広告事業領域の開発等、ニュービジネスに取り組んでいかなければなりません。

2022 年度はこうした位置付けから、当協会としては鉄道広告の持つ公益性と果たすべき役割を認識し、ICT の急速な発展に対応、鉄道広告の付加価値をより高めるなど、社会的ステータスの向上を目指し、会員各社の相互理解と協力を得て、取り組んでまいります。

具体的な事業計画については次ページ以降のとおりですが、主な公益事業として、環境や美観風致という観点から第 16 回地球温暖化防止キャンペーン、倫理という観点から鉄道利用マナーUP キャンペーンを実施します。また、その他事業として、鉄道広告の技術開発の観点から、交通広告に応用可能な先端 ICT 技術情報の収集と共有化、人材育成の観点から、「交通広告ビジネス概論 2020 増刷版」の発行、アカウントビリティ向上の観点から、交通広告共通指標推定システムの充実、調査研究の観点から、e-販促データシステムの改良と普及を、それぞれ主要課題に基づいて取り組んでいかなければならないと考えています。

2022 年度事業計画

1. 各委員会の主な活動目標

(1) 総務・財務委員会

- ・ 新規会員の入会懇話
- ・ 支部活動活性化支援
- ・ 年次報告書の作成
- ・ 他広告団体との交流

(2) 倫理委員会

- ・ 倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・ 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・ 鉄道利用マナーUP キャンペーン実施
- ・ 広告倫理に関する事例研究の実施
- ・ 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

(3) 美観風致委員会

- ・ 環境委員会との共同による第 16 回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・ 美観事例の収集と紹介
- ・ 美観風致に関する教育研修

(4) 環境委員会

- ・ 環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・ 「JAFRA 環境方針」配布後の状況把握
- ・ 美観風致委員会との共同による第 16 回地球温暖化防止キャンペーンの実施

(5) 安全委員会

- ・ 安全管理に関する調査研究の推進
- ・ 安全作業に関する教育研修の実施

(6) 標準化委員会

- ・ 2022 年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

(7) 人材育成委員会

- ・ 若手人材の研修、育成（「交通広告ビジネス概論 2020」増刷版の発行）
- ・ 鉄道広告実務研修の実施
- ・ セミナー、シンポジウムの開催

(8) 技術開発委員会

- ・ デジタルテクノロジー等を活用した交通広告の価値向上に関する情報収集および提案と、交通広告の復権に向けて参考となる効果的な取り組みの紹介
- ・ コロナ影響下においても交通広告が他媒体との競争力を維持していくため

の、メジャメントや DDOOH 等新技術を活用した取り組み事例の収集と今後の取り組み拡大のために参考となる方向性の検討

(9) 調査研究委員会

- ・ 効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・ e-販促データシステムの改良と普及
- ・ 媒体活用事例の調査と紹介

(10) 業務近代化委員会

- ・ 業務近代化に関する課題の提言
- ・ 働き方改革の検討
- ・ デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

(11) PR 委員会

- ・ 「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
- ・ ホームページを活用した、情報発信の強化
- ・ 鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・ 関係する外部機関との連携強化

(12) アカウンタビリティ向上委員会

- ・ 標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
- ・ 関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
- ・ 交通広告共通指標策定システム稼働と運用及びシステム利用会員の拡大

2. 各支部の主な活動目標

(1) 北海道支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
- ・ 媒体講演会の開催：8月
- ・ 媒体視察研修会の開催：10月
- ・ 交通広告勉強会の開催：11月
- ・ 新年懇親会の開催：2023年1月
- ・ 媒体連絡会の開催：不定期
- ・ 新規会員の入会懇話（以降各支部共通）
- ・ 第16回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）
- ・ 鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施（以降各支部共通）

(2) 東北支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：12月
- ・ 支部セミナー等の開催：12月
- ・ 東日本鉄道仙台広告会等との連携

(3) 首都圏支部

- ・ 鉄道広告実務研修の実施：9月下旬から10月上旬頃
- ・ セミナーの開催：7月、11月、2023年3月頃の3回
- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月 ホテルメトロポリタン池袋
- ・ 地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携

(4) 中部支部

- ・ 支部総会・意見交換会の開催：7月
- ・ 支部セミナーの開催
- ・ 支部幹事会の開催

(5) 近畿・中国・北陸支部

- ・ 支部幹事会の開催：7月、2023年3月
- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
- ・ 支部セミナーの開催：7月27日 ※オンライン
- ・ 交通広告実務研修会の実施：9月
- ・ 関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携

(6) 四国支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：6月15日
- ・ 媒体視察研修会の開催：11月
- ・ 支部セミナー・交流会の開催：2023年2月
- ・ 地域間交流の促進

(7) 九州支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：8月9日
- ・ 支部セミナーの開催：8月9日
- ・ 支部運営会議の開催：7月、2023年3月
- ・ 西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
- ・ JAFRA NEWS への掲載及び本部各委員会との連携強化